

環境振動運営委員会 2016 年度第 2 回議事録（案）

- A. 日 時 2016 年 6 月 21 日 月曜日 17:30～19:30
 B. 場 所 建築学会 304 会議室
 C. 出席者 主査他 1 2 名

D. 提出資料（提出委員名）

- No.2-00 (1) 議事次第
 No.2-01 前回議事録案
 No.2-02 20160610_環境工学本委員会（第 1 回）議題 sk.doc
 No.2-03 20160610_環境工学本委員会（第 1 回）資料.pdf
 No.2-04 各小委員会・WG 報告
 No.2-05 各小委員会・WG 報告
 No.2-06 (2) 各小委員会・WG 報告
 No.2-07 各小委員会・WG 報告
 No.2-08 各小委員会・WG 報告
 No.2-09~10 各小委員会・WG 報告
 No.2-11 各小委員会・WG 報告
 No.2-12 各小委員会・WG 報告
 No.2-13 大会非公式行事について

E. 議事内容

O. 前回議事録確認（資料 No.2-01）

議事録は承認された。

1. 環境工学委員会（本委員会）報告（資料 No.2-02,03）

報告事項

- ・資料 1-02,03 に基づき報告
- ・予算の配分（消化率）について議論がなされている。
 → 予算は基本+研究となっており，研究=企画刊行と位置づけられている。
 → **意見があれば主査にメールをすること**
- ・AIJ 大会 2017 は中国（広島工業大），4 日間開催
 → 滋賀で 4 日間開催は不評であったがどうなのか？
 → 環境工学委員会では特に意見はなかった。
- ・AIJ 大会 2016 は 1377 題（環境工学），2007 年度以降最多
- ・若手優秀発表賞は全運営委員会で実施（環境工学）
 → 授与式はどうするのか？（要確認）
- ・PD 会場，10 号館 1031 室
- ・規準・仕様書等のあり方検討タスクフォース報告
 → 訴訟が発端。執筆ガイドライン発行。目を通しておくこと。
- ・AIJES について，5 年経過前に確認
- ・英文名称：WG 名については本委員会で統一か？（議論中）
- ・2017 年度大会の研究集会について
 → 研究集会企画案について 9 月に議論。A4 1 枚概要程度の提出(中国支部)
- ・2017 年度予算編成方針について
 → 9 月に議論。「研究」の過去の消化率などの資料を作成し検討。

- ・シンポジウム実施報告、実施計画，ワーキンググループ設置申請，委員公募結果，委員の委嘱・解嘱・会員外の委員委嘱申請 が承認された。
- ・環境工学研究者名簿について継続審議（アンケートは廃刊 69.8%であった）
 - 連絡をしたいときになにもなくなってしまふ。
 - 多数決でいいのではないか。
 - 漏れが多いのでは？
 - **意見があれば主査にメールをすること**

<学会賞、奨励賞>

- ・年によって各部門割り当て人数が異なる。
- ・決め方のルールがある。
- ・各部門の論文数、応募件数など過去5年の重み付け、移動平均。
- ・論文数を増やすと受賞者数が増える
 - 委員長提案：論文数を増やしましょう。
 - 黄表紙の位置づけ、IF など外国雑誌への投稿。学位審査条件などとの関係あり。
 - 環境で通常2人，多くて3人

2. 各小委員会・WG 活動報告

2-1. 測定分析小委員会（資料 No.2-04）

- ・技術報告集を2月に3編投稿
 - 1編採用，2編不採用（アンケート系，10月に練り直して1編を再投稿予定）
 - 6月に2編投稿，査読中
 - シンポジウムなど議論する場にも出してほしい
 - 執筆は？ 主にデータを整理した方をお願いしている。

2-2. 性能評価小委員会活動報告（資料 No.2-05）

- ・資料に基づいて説明
 - 戸建て系の方に見える化 WT（主査：益田氏）の委員に入ってほしい
 - 三井ホームの方に打診中，若手の方になりそう。
 - 小委員会委員はある程度自分で進められる方がいいので保留とする。
 - 北方建築総合研究所に鉛直・水平の複合振動を再生できる実験装置があり，見学会を検討中
 - 小委員会から枠を広げて参加者を増やす方向で検討中

2-3. 環境振動予測解析小委員会活動報告（資料 No.2-06）

- ・6/20 開催
- ・資料に基づいて説明
 - 愛知工業大学での計測およびブラインド解析を実施予定
 - ばらつきをキーワードに進める予定 ←何を進める？（整理，まとめ，活動）

2-4. 環境振動設計ガイド策定小委員会活動報告（資料 No.2-07）

- ・WG傘下の各SWGを開催
 - （入力レベル：マトリクス縦軸を議論）
 - 内部振動源は歩行をベースに人数で大きさを考える。
 - 外部振動源は道路振動をベースに敷地境界における加速度（絶対値）で考える。
 - 自然外乱は風をベースにまとめる。再現期間で大きさを考える（日本は1年，ISOは5年など）
 - 長周期地震動も含める方向で検討中（再現期間が長くなる）

- 大会 PD の原稿は議論内容をまとめて執筆予定
- マトリクスの縦軸は設計，横軸は評価という関係になっている
- 長周期地震動に対しては，風をベースにまとめたものが参考になるという程度

2-5. 居住性能評価指針改定小委員会（資料 No.2-08）

性能評価法検討 WG（松本，資料 No.2-09～10）

- ・資料 No.2-08 に基づいて説明

次回 8/9 開催予定，PD の前に

ランク設定を出すのか？

→設計の方で入力とのマトリクスでランクを示す。

→鉛直の評価曲線は@3dB（ $\sqrt{2}$ 倍），6 本の線を提示する予定。

→水平は長周期地震動を見据えて増やす方向で検討中。

→水平についても鉛直と同様にまとめていく予定

- ・資料 No.2-09～10 は各自で読んでください。

2-6. 戸建て住宅の振動特性 WG（資料 No.2-11）

- ・資料 No.2-11 に基づいて説明

→ツーバイフォー6 階建て実大実験棟見学を兼ねて実施

→CLT の建物か？ CLT を含む木造の高層建物，耐火性能を満足している。

2-7. 環境振動シンポジウム検討 WG（資料 No.2-12）

- ・資料 No.2-12 に基づいて説明

次回，9/8 開催予定

2-8. 広報 WG

随時最新情報を更新している（2017 年大会情報など）。

2-9. 広域評価モニタリング WG

戸建て WG に絡めて 6 階建て建物での計測を検討

3. その他

- ・大会での非公式行事について確認（資料 2-13）→なし

- ・今後の委員会開催予定

| | | | | | |
|------|---------------------|--------|------|---|----|
| 1 回目 | 2016 年 04 月 22 日（金） | 17：30～ | 建築会館 | → | 済み |
| 2 回目 | 2016 年 06 月 21 日（火） | 17：30～ | 建築会館 | → | 済み |
| 3 回目 | 2016 年 10 月 03 日（月） | 17：30～ | 建築会館 | | |
| 4 回目 | 2016 年 12 月 05 日（月） | 17：30～ | 建築会館 | | |
| 5 回目 | 2017 年 01 月 27 日（金） | 10：30～ | 建築会館 | | |

以上